

希学園 第397回 小4公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第397回公開テスト 小4算数 解説動画(2025年6月8日実施)	https://vimeo.com/1090955575/clacaba0e4

1

(1)	1 0 0 0 4	(2)	8 4 2	(3)	1 1 9	(4)	2 2 3 8
(5)	9 9 6 3	(6)	1 2 0 4 8	(7)	1 3 4 7	(8)	2 1 5 8
(9)	$\frac{61}{79}$	(10)	㊦ 4 (L)	㊥ 4 2 0 (mL)	(11)	2 5 2 (m)	
(12)	6 8 (本)	(13)	1 5	(10)完答)			

2

(1)	0	(2)	9 0 (番目)	(3)	4 0 (番目)
-----	---	-----	----------	-----	----------

3

(1)	2 5 回	(2)	7 回	(3)	1 6 回
-----	-------	-----	-----	-----	-------

4

(1)	2 2 cm	(2)	3 0 cm	(3)	4 2 cm
-----	--------	-----	--------	-----	--------

5

(1)	7 通り	(2)	1 2 通り	(3)	2 1 通り
-----	------	-----	--------	-----	--------

(配点) 各4点×25

1

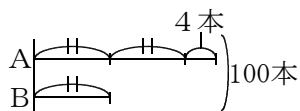
(7) $998 + \boxed{} = 2345$
 $\boxed{} = 2345 - 998 = \underline{1347}$

(8) $4137 - \boxed{} = 1979$
 $\boxed{} = 4137 - 1979 = \underline{2158}$

(10) $7 \text{ L } 5 \text{ dL} - \boxed{\text{㊦}} \text{ L } \boxed{\text{㊩}} \text{ mL} = 3 \text{ L } 80 \text{ mL}$
 $\boxed{\text{㊦}} \text{ L } \boxed{\text{㊩}} \text{ mL} = 7500 \text{ mL} - 3080 \text{ mL}$
 $= 4420 \text{ mL} = \underline{4 \text{ L } 420 \text{ mL}}$

(11) $2 \text{ km } 25 \text{ m} - \boxed{} \text{ m} - 183 \text{ m} = 1 \text{ km } 590 \text{ m}$
 $2025 \text{ m} - \boxed{} \text{ m} = 1590 \text{ m} + 183 \text{ m} = 1773 \text{ m}$
 $\boxed{} \text{ m} = 2025 \text{ m} - 1773 \text{ m} = \underline{252 \text{ m}}$

(12) 右の線分図のようになる。Bの本数は、 $(100 - 4) \div 3 = 32$ (本)
Aは、 $100 - 32 = \underline{68}$ (本)



(13) AとBの組み合わせは0と7, 1と8, 2と9のどれか。
 $B \times C = 12$ となるBとCの組み合わせは2と6, 3と4のどちらか。Bはどちらにも入っているので、当てはまる数は2しかない。よって、Aは $2 + 7 = 9$, Cは $12 \div 2 = 6$ となり、AとCの合計は15。

2

2, 0, 2, 5の4個のくり返し。

(1) $42 \div 4 = 10$ (セット) あまり 2 (個)
 $2, 0 \rightarrow \underline{0}$

(2) 1セットの合計は、 $2 + 0 + 2 + 5 = 9$
合計が200になるとき、 $200 \div 9 = 22$ (セット) あまり 2
あまり部分の2は、2と2+0の2パターンある。
よって、合計が200になるのは、
 $4 \times 22 + 1 = 89$ (番目) と、 $4 \times 22 + 2 = \underline{90}$ (番目)

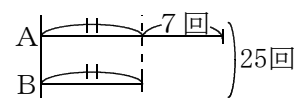
(3) $100 \div 4 = 25$ (セット) より、はじめから100番目までの合計は、 $9 \times 25 = 225$
□番目から100番目までの合計が140なので、はじめからの合計が $225 - 140 = 85$ になるところをさがせばよい。
 $85 \div 9 = 9$ (セット) あまり 4 より、あまり部分の4は $2 + 0 + 2$ なので、合計が85になるのは、はじめから $4 \times 9 + 3 = 39$ (番目) までの合計。よって、□は40。

3

(1) 1回のじゃんけんで、2人合わせて $3 + 1 = 4$ (段) 上がる。2人合わせて、 $57 + 43 = 100$ (段) 上がっているのので、じゃんけんの回数は、 $100 \div 4 = \underline{25}$ (回)

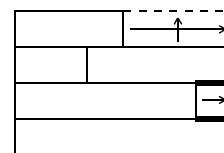
(2) 1回勝つと、上がる段の数は相手より、 $3 - 1 = 2$ (段) 多くなる。A君はB君より $57 - 43 = 14$ (段) 多く上がっているのので、 $14 \div 2 = \underline{7}$ (回) 多く勝っている。

(3) A君とB君の勝った回数をまとめると、右の線分図のようになる。A君の勝った回数は、
 $(25 + 7) \div 2 = \underline{16}$ (回)

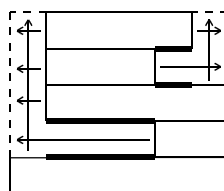


4

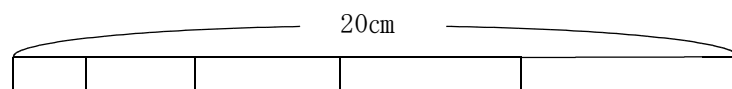
(1) 右の図のように、長さをうつして考えると、たてが4 cm, 横が6 cmの長方形のまわりの長さに、太線部分をたした長さになる。太線部分の長さは、 $6 - 5 = 1$ (cm) なので、まわりの長さは、 $(4 + 6) \times 2 + 1 \times 2 = \underline{22}$ (cm)



(2) 右の図のように、長さをうつして考えると、たてが5 cm, 横が6 cmの長方形のまわりの長さに、太線部分をたした長さになる。太線部分の長さはそれぞれ、 $4 - 3 = 1$ (cm) と、 $5 - 2 = 3$ (cm) なので、まわりの長さは、 $(5 + 6) \times 2 + 1 \times 2 + 2 \times 3 = \underline{30}$ (cm)



(3) それぞれの長方形のつなぎ目は、すべて1 cmになっている。したがって、(図4)の図形のまわりの長さは、すべての長方形を、下の図のように短い方の辺をくっつけて一直線につないだときのまわりの長さに等しくなる。このときの横の長さは、
 $2 + 3 + 4 + 5 + 6 = 20$ (cm)



よってまわりの長さは、 $(1 + 20) \times 2 = \underline{42}$ (cm)

5

取り出した枚数で場合分けして、ていねいに調べていく。

(1) 合計が4になる取り出し方は、
2枚→(1, 3)(2, 2)(3, 1)
3枚→(1, 1, 2)(1, 2, 1)(2, 1, 1)
4枚→(1, 1, 1, 1)より、7通り。

(2) 合計が5になる取り出し方は、
2枚→(2, 3)(3, 2)
3枚→(1, 1, 3)(1, 2, 2)(1, 3, 1)
(2, 1, 2)(2, 2, 1)(3, 1, 1)
4枚→(1, 1, 1, 2)(1, 1, 2, 1)
(1, 2, 1, 1)(2, 1, 1, 1)より、12通り。

(3) 合計が6になる取り出し方は、
3枚→(1, 2, 3)(1, 3, 2)(2, 1, 3)
(2, 3, 1)(3, 1, 2)(3, 2, 1)
4枚→(1, 1, 1, 3)(1, 1, 2, 2)(1, 1, 3, 1)
(1, 2, 1, 2)(1, 2, 2, 1)(1, 3, 1, 1)
(2, 1, 1, 2)(2, 1, 2, 1)(2, 2, 1, 1)
(3, 1, 1, 1)
5枚→(1, 1, 1, 1, 2)(1, 1, 1, 2, 1)
(1, 1, 2, 1, 1)(1, 2, 1, 1, 1)
(2, 1, 1, 1, 1)より、21通り。

配点：各4点×25